

## 平成 30 年 2 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

2月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が4業種、昨年同等が5業種、悪化が5業種となり、全体の景況感DI値も悪化している。

商店街では季節商品の購入等で多少上向いているが、窯業・土石製品は寒波の影響を受け、建設業と運輸業では人手不足の影響が拡大し、悪化の様相である。

山口県の中小企業は、益々深刻化する人手不足によるコストの上昇等から収益の確保が難しくなっている。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 2 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：26.3% DI値：▲20.0% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：13.8% 減少：31.3% DI値：▲17.5% ポイント









収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )


前年同月比は、好転：10.0% 悪化：25.0% DI値：▲15.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 30 年 2 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	11.1	50.0	▲18.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
0.0	▲33.3	▲50.0	▲9.1	▲30.0	0.0	▲100.0	▲21.2
							

全体
▲20.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	バレンタインデーは全体的に不調。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	売上は対前年度同月比▲5%程度と大きなマイナス。寒波襲来による降雪や天候不順で客足が鈍った。最終週からは比較的暖かくなったので客足は回復した。販売系の正規職員・パート職員とも退職補充の採用環境が厳しい。萩市内の他事業者からも同様の話を聞いている。ローカルにおける人手不足が深刻な状況になってきたと感じる。	水産食料品製造業 萩市
	季節的に物が動きにくい時期。原材料の値上げがじわじわと影響している。また、配送料の増加も大きく、経費の増加が大きい。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	1月に続き数年ぶり的大雪などの低温のため作物の生育に影響が出ており、異常な低温による野菜価格の上昇が社会的な影響を与えている。水道管の破裂など予期せぬ異常事態もあり、天候リスクがさらに高まり、突然の自然災害へ対応できるような仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めない社会づくりのため、日本においても、公共交通の燃料電池車への切り替え、水素ステーションの増設や家庭用燃料電池の普及など、具体的な取り組みが必要。	精穀・製粉業
繊維工業	2月9日に中国人実習生5名が帰国。 (現在、中国人18名+ベトナム人40名=58名)	下着類製造業
	小ロット化傾向がより強くなっている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	春物に向けて受注は安定している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	追加発注が多いが納期設定が年度内となっており、生産の現場は大変な状態。また、支給の資材の品質が悪く、生産性が上がらない状態である。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	雪が多いため、生産が出来ない。	製材業・木製品製造業 山口市
	従業員の高齢化が進み、人員不足も解消されていない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	オリンピック景気等の影響か、東京からの発注が増えているようだ。	印刷 下関市
	県庁入札物件が昨年 비해激減しているが、報告書等の電子化が進んだせいかもしれない。	印刷 山口市

窯業・土石製品	<p>2月の出荷量は (平成29年2月) 骨材 70%、路盤材82%、再生材85% ↓ (平成30年2月) 骨材129%、路盤材97%、再生材81%</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は、前月比68%、前年同月比96%。現時点の、セメント・骨材等の資材調達では、特に問題は生じていない。生コン価格は安定している。</p>	生コンクリート製造業
	<p>石材業界は依然として厳しい状況が続いている。それに最近の寒波の影響により、山間部では加工に使用する水関係のパイプの凍結により作業が捗らなかったり、降雪により現場にも出られない時期があった。早く寒さが緩み業界にも暖かい風が吹くことを願う。</p>	石工品製造業
	<p>平成29年に萩市を訪れた観光客は約142万人で、平成28年比103.3%。宿泊者数も約43万人で、平成28年比105.0%。増加比率程の売上の増加とはなっておらず、依然厳しい状況が続いている。組合員4社が参加しているテーブルウェア・フェスティバル(東京ドーム、2/4～12)は天候に恵まれ、入場者、売上げともにアップして終える事が出来た。その反面、ギフト・卸関係・アンテナショップは売上が低迷し、例年の2月通りの数字となった。</p>	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	<p>引き続き良好な企業と自動車金型を扱う企業のようにやや不調な企業があり、若干の差が出てきた。海外プラント関係・鋼構造物(鉄骨建屋関係)は好調を維持している。先月は良かったが今月は悪化しているという組合員の話もあり、中小企業で構成される我が組合では先が読めないのが悩みである。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車、造船関係等の全職種の業績は好調で残業も多く、外国人技能実習生受入れ増員の相談あり。新規に、印刷、精密機械からの依頼もあった。又、産業廃棄物処理等、職种的に受入れが難しい業種からも相談が多い。介護の受入れについては、複数の施設からの相談、要望があるが、現行制度では対応が難しい。なお、11月1日付で、一般(優良)組合の指定を受けたので、実習期間5年への延長、受け入れ枠の拡大による増員についても多くの企業から要望があり、順調に移行の手続きをしている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>全部門(鉄道車両、精密加工、産業プラント)ともに作業量に恵まれ、操業度も上がってきた。平成30年上期まではこの状況が続くと見られる。</p>	鉄道車両・同部品製造業

卸売業	売上は前年同月比で同等である。在庫数は、海苔▲ 9.1%、いりこ11.4%となり、多品目を加えた 総数では15.6%増加している。	乾物卸売業
	養殖・天然ともに数量が増加し最安値である。しか し、来年の漁獲量が心配である。	生鮮・魚介卸売業
小売業	毎年、1～3月の売上はキビシイ状況である。その ため新商品の予約をとるなど、次につなげる活動を行 っているお店が多い。メーカーの美容部員の数も年々減 ってきているので、それにともなって売上が落ちてい るお店も増えてきている。	化粧品小売業
	日本列島を空前の寒波が覆い全国各地で交通障害や 災害に襲われた。物流に影響が起こるほどの自然災 害や事故が発生すると、流通業界全体に悪影響が及 ぶことはもちろん、消費者の間では贅沢は敵という 概念が消費の冷え込みを招き、経済活動は鈍化する。 こうした影響を受け、商店街や各個店でも大きな売 上の躍進は見られず、気温の上昇、春の訪れを待つ 声が多く聞かれた。しかし症状は一時的なものと考え られ、市況は僅かに悪化に転じたが、経営基盤を脅 かすものではなく、3月以降の巻き返しが期待され ている。	各種商品小売業 岩国市
	近年は、商店街としても厳しい状況が続いているが、 お客様から「飲食店が少ない、休憩場所がない。」な どの声がある。イベントも良いが、お客様の希望に 沿えるようインフラ等も考えれば、売上に繋がると 感じている。	各種商品小売業 山口市
	先月同様、昨年に比べ商店街への来客数が減少して いる。ひなまつりの飾りを商店街内に飾っているが、 来客数増加には繋がっていない。	各種商品小売業 下関市
	客数、売上とも前年を下回る状況である。	各種商品小売業 長門市
商店街	経済情勢は緩やかな持ち直しとあるが、雇用情勢も 改善されず、寒さが厳しいこともあって商店街への 客足が減少し、衣料品を中心とした冬物バーゲン等 も消化不良。	山口市
	商店街での消費行動が年々弱くなっている。	宇部市
	多少の暖かさを感じるが、店舗の売り上げには暖か さが伝わらない模様。宝飾関係はお客様の出入りが 若干あり、衣料関係も卒業・入学等で多少上向きの 模様。生鮮野菜等はまだまだ高値。	萩市
サービス業	この冬の寒さの厳しさにより低迷した1月の売上の 穴を埋めたいと期待したが、例年通りの売上であつ た。中旬の暖かい時期に年金日の前というのに来店 が増えた。お天気に左右される。	美容業

	寒さもあったが後半に暖かさが戻り、売上も伸びた。	理容業
	近年販売させる新車新規の自動車については、衝突被害軽減ブレーキといった先進安全技術が高い割合で搭載されてきており、これらの車が事故修理や全面ガラスの交換を行うと、エーミング作業（自動ブレーキ等の先進安全装置が正常に作動するかどうかの確認作業）を実施しないと安全が担保されないため、エーミングを行うための設備や機器の高額な設備投資が必要となり、自動車の進化とともに零細の町工場での対応が難しくなっている。	自動車整備業
	人口減少のスピードが速いエリアは厳しい。	スポーツ・健康教授業
	1月に続き、2月も業界には厳しい風が吹いている。納期を伸ばし、一度に洗う量を増やすなどして利益の確保を図っている。月末から急に春らしくなったので、例年よりも早い繁忙期に突入することを多数の組合員が祈っている。組合では、新規顧客獲得のためのセミナーを開催する等、業界がよくなるよう試行錯誤しながら取り組んでいる。	普通洗濯業
	売上高の減少は季節変動による。先日の報告と同じです。	旅行業
	宿泊者数は対前年同月比で103%となり、売上は前年並みを確保できた。前年2月より施設2軒が減少した状況の中で前年並みを確保できたことは良しとしたい。	旅館業 山口市
	施設利用者（入浴者数）は前年と同等でも、売上高は前年同月比で若干の増額となったが、資金繰り問題は解消できず、依然として余裕がない。	旅館業 長門市
	天候が不安定で公共交通機関がマヒし、遠方からのお客様のキャンセルが発生した。	旅館業 下関市
	天候不良による客足の減少。ピョンチャンオリンピックが閑散期と重なり、売上は一年間で一番低い月となった。働き方改革や受動喫煙の問題など、飲食業にとって重要な問題が山積みであるが、春へむけて歓送迎会やイベントなどでの客足の伸びに期待する。	飲食業
建設業	山口支部の中電への工事申請は72件。太陽光発電の申請18件。オール電化申請66件。 LED 街路灯への切替・新設の申請は11件であった。	電気工事業
	高校新卒者に対する求人活動の困難さが続くとともに雇用している若年者が増設する工場に引き抜かれる事例が発生するようになった。	左官業

	<p>2月19日発表工事費単価の労務費単価は3.4%アップ、燃料費単価もアップしている。(参考だが、周南市内ガソリンスタンド店頭の現金価格は140円程度で高止まりしている。)2月末納期の受注工事は殆ど完了しており、既に道路管理会社によりライン引き工事等が行われている段階である。「業界の景況が好転して忙しい」のではなく、「人手不足の中で仕事をしておりその分忙しい」状況が続いている。65歳雇用推進助成金もあるがある程度体力がある事業所が利用しているのが実情である。</p>	管工事業
	<p>異常な寒波の襲来、天候不順等で工事の消化が予定通り出来ず、これにより売上高の減少を招いている。新築着工件数は、幾分回復基調にあるが、瓦の採用が少なくなり、他の屋根材(スレート瓦、金属屋根材)等が増加している。</p>	屋根工事業
	<p>2月の内装工事業は3月完工の物件がピークを迎え、内装工事の職人が全く足りない状況となった。進行中の現場と残工事が残った現場が同時進行となって、各現場を少人数で片付けた。前工程の遅れのため現場が他業種の工事で、ごったがえした状態の中であつたが少人数でこなせた。効率が落ち、工期も守れず、元請の検査中でも残工事を片付ける状態の昨年まででは考えられない状態であつたが、人手不足が各業種に浸みわたり慣れてしまったせい、その状態の中でも、そこまで支障があるようには思われなかった。</p>	内装工事業
	<p>年度末ではあるが、あまり忙しくないとの声がある。柳井地区にあつては、公共工事の発注が少なく、民間工事も少ないことが原因の様子。民間の大型工事も他県から来て施工しており、地元の業者は下請負としても施工していない。地域の活性化が望まれる。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>2月の受注高は、対前年同月比41.3%。今年度の累計では、対前年比52.4%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>2月の輸送は降雪のため輸送範囲はやや狭まったが、国内の近距離、輸出関連の輸送はやや活発であつたので、売上高はプラマイゼロである。“働き方改革”では一定の解釈がなされていない現状に、中小運送業者は少なからず不安を募らせている。燃料費は2.9円の値上げとなり、運賃据え置き現状の中小運送業者にとっては、少なからぬ痛手である。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>2月の輸送受注は、前年同月比で5%程度のプラスとなり、6ヶ月連続で増加している。燃料費の上昇は若干落ち着いたが、依然として上昇基調にある。運転手不足は依然として解消されず、来期からの運賃見直しについて荷主に交渉中である。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市

	<p>全国的な会合で、多くの会社で運賃値上げ交渉を行っているという話があり、また、値上げ交渉を行っている会社の多くが、荷主から安全・品質の向上を要求されているということであった。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>売上は前年同月比▲7%。前月との変化はあまり感じられないが、不況がジワリジワリと迫っているように感じられる。</p>	一般旅客自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲4.8%（平成30年1月1日～平成30年2月20日分）。1月1日～31日分は▲7.7%、2月1日～20日分は▲0.3%。1月分は平成28年5月以来の大幅な減少となった。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域。1月分については、周南▲3.3%、下松+7.0%、光+0.2%、防府市地区が▲26.1%で、組合員の全域では▲6.4%、地区外（員外）▲26.6%で合計▲7.7%。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが下がり（前月570.0\$/トンが今月537.5\$/トン、前年547.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油は（前月375.0\$/トンが今月390.0\$/トン、前年335.0\$/トン）上がったが、為替も円高（前月114.02円/\$が111.86円/\$）になり、前月より▲4.0%減少。前年2月に高騰したので、対前年同月比で▲1.4%となった。タクシー乗務員は慢性的に不足し稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては配車が大幅に遅れるような状況もある模様。2月にほぼ前年並みとなったが、1月は大幅な減少であった。年末12月の好調の反動や、天候（降雪や寒さ）なども考えられるが、好調と言われる景気がたいへん弱く、個人消費の増加にまではつながって来ていないという事だと思ふ。</p>	一般旅客自動車運送業 周南市
	<p>取扱高は、対前年同月比で若干減少した。全般的には大幅な変化はない。</p>	港湾運送業
その他非製造業	<p>感染症の影響で利用者、職員ともに体調を崩す傾向にあった。ウイルスを断ち感染源を拡大させないことにより対策を考えていきたい。</p>	介護事業